

水性反応硬化形エマルジョン塗料

# 水性モルコン

環・境・最・適  
MORCON

超低VOC

超低臭

ヤニ・シミ止め

防かび性

防藻性



# 水性モルコン

環・境・最・適 MORCON

機能性を高めたエマルジョン塗料

エマルジョン塗料は、環境に優しく、上品なつや消し仕上げ塗料として広く使用されてきました。この塗料に、「ヤニ止め効果」「防かび性」「防藻性」「透湿性」「汚れ除去性」などの機能をプラス。環境や安全に配慮しながら、よりハイクオリティで、より快適で使いやすい塗料を実現しました。

## 環境と安全に配慮

### 》 超低VOC

厚生労働省が定める室内環境有害化学物質は一切配合していません。またVOC(揮発性有機化合物)をほとんど含みません。

揮発性有機化合物	室内濃度指針値(値は25℃での換算)	水性モルコン
ホルムアルデヒド	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.08ppm)	配合せず
トルエン	260 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.07ppm)	配合せず
キシレン	870 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.20ppm)	配合せず
パラジクロロベンゼン	240 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.04ppm)	配合せず
エチルベンゼン	3800 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.88ppm)	配合せず
スチレン	220 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.05ppm)	配合せず
クロルピリホス	1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.07ppb)成人 0.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.007ppb)子供	配合せず
フタル酸ジ-n-ブチル	220 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.02ppm)	配合せず
テトラデカン	330 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.04ppm)	配合せず
7-フルオロ-2-エチルヘキシル	120 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (7.6ppb)	配合せず
ダイアジノン	0.29 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.02ppb)	配合せず
アセトアルデヒド	48 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.03ppm)	配合せず
フェノブカルブ	33ppm (3.8ppb)	配合せず

### 》 F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆です。

### 》 超低臭

臭気の少ない原料を厳選していますので、塗装時のいやな臭気がほとんどありません。

## 塗膜性能

試験項目	試験結果	品質規格(JIS K5663 1種に準じる)
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗装作業性	合格	2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。
低温安定性(-5℃)	合格	変質してはならない。
乾燥時間	標準状態	2時間以内
	5℃	4時間以内
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
隠ぺい率%	98	93以上
耐水性	合格	96時間浸したとき異常がないものとする。
耐アルカリ性	合格	48時間浸したとき異常がないものとする。
耐洗浄性	合格	500回の洗浄に耐えるものとする。
促進耐候性	合格	異常がない。
屋外暴露耐候性	合格	12ヶ月の試験で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。

- 容量 / 16kg・4kg
- 色 / 白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺・淡彩色・中彩色・濃彩色
- つや / つや消し

## 特 性

### 》 ヤニ・シミ・汚れ止め効果

タバコのヤニ・シミ・汚れが軽微な場合、特殊技術の吸着・固定化機能により、本品の塗装で、ヤニ・シミ・汚れ止めが可能です。

### 》 高隠ぺい性

抜群の隠ぺい力で、落ち着きのある美しいつや消し仕上げが得られます。

### 》 付着性

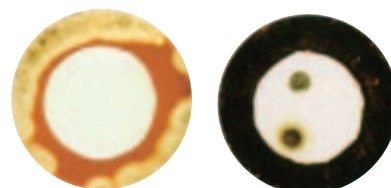
各種の素地及び旧塗膜との密着性に優れ塗り替えに最適です。

### 》 作業性

十分に吟味されたローラー及びはけの作業性は塗りやすく、タッチアップ性にも優れます。

### 》 防かび性・防藻性

微生物などの汚染を抑制し、清潔な生活環境を維持します。



● 水性モルコン

● 市販品

### 》 透湿性

透湿性に優れますので、素地の水分は水蒸気として外部へ放散し、塗膜のふくれ、はがれを抑制します。

### 》 汚れ除去性

ち密な塗膜は汚れが付きにくく、汚れても拭き取りで容易に除去できます。

## 規 格

### 》 JIS・防火性能

JIS K 5663  
合成樹脂エマルジョンペイント及びシーラー  
合成樹脂エマルジョンペイント 1種規格品です。  
塗膜は国土交通大臣認定防火材料です。

認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

### 適用部位

内壁・外壁・柱・廊下壁・階段壁・天井

### 適用素地

モルタル・コンクリート・PCパネル・ALCパネル・コンクリートブロック・スレート・せっこうボード・窯業系サイディングボード・木部

### 適用旧塗膜

AEP・GP・VP・OP・AE・多彩模様・吹付タイル・リシン・スタッコ

# ヤニ・シミ・汚れ止め効果



## 標準塗装仕様

### ■ 新設仕様 コンクリート、モルタル、せっこうボード面、内外壁

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法	
1	素地調整	・汚れ、じんあいなどの付着物、粉化物などを除去し、乾燥した面にする。(含水率 10% 以下、pH10 以下) ・ひび割れ、凹部は、パテまたはラフトンフィラーで平滑に調整する。					
2	下塗り	AEPクリーンシーラーホワイト 清水	100 10~30	0.07~0.11	1	2時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3	上塗り(1回目)	水性モルコン 清水	100 5~15	0.12~0.14	1	2時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
4	上塗り(2回目)	水性モルコン 清水	100 5~15	0.12~0.14	1	—	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り


### ■ 塗り替え仕様 コンクリート、モルタル、せっこうボード面、内外壁 旧塗膜…AEP、VP、GP、AE

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法	
1	素地調整	・旧塗膜のはがれ、浮き、亀裂、ぜい弱部をサンダー、皮スキ、サンドペーパーなどを用いて除去する。活膜は研磨紙で目荒しする。汚れ、じんあいをブラシ、布などで除去する。・ひび割れ、凹部は、ラフトンフィラーで平滑に調整する。					
2	上塗り(1回目)	水性モルコン 清水	100 5~15	0.12~0.14	1	2時間以上	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り
3	上塗り(2回目)	水性モルコン 清水	100 5~15	0.12~0.14	1	—	はけ塗り ローラー塗り エアレス塗り

・外部および水廻りのある内部でのエマルジョンパテの使用は避け、ラフトンフィラーで調整してください。  
 ・使用の各数値はすべて標準のものです。素地の種類・形状・状態、塗装方法、気象条件などによって増減します。

## ヤニ・シミ・汚れ面での 施工ポイント

水性モルコンは、下地のヤニ・シミ・汚れが軽微な場合にシミ止め効果を発揮できます。



ヤニ止めの目安としては、左記色相よりうすい場合です。

- 下地のヤニ・シミ・汚れが著しい場合は、濡れウエスなどで、洗浄除去し、十分に乾燥させてから本品を塗装してください。
- 下地にヤニ・シミ・汚れが残っている場合は、本品の希釈は少なめにし、1回目の上塗り後、十分に乾燥させてから2回目の上塗りを行ってください。
- 本品で下地からのシミを抑えられない場合は、ヤニガードを下塗りしてください。

## こんなところに



■ 病院・店舗・事務所など



■ シミが発生している軒天



■ 地下室など



■ 学校や集会所など

## 塗装上の注意事項

- 気温5℃以下、湿度85%以上の場合、また結露が予想される場合は、塗装を避けてください。
- 外部塗装で降雨、降雪のおそれがある場合また強風時の場合は塗装を避けてください。
- 素地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 段差、巣穴、ひび割れ及びボード類のジョイント部などはパテまたはラフトンフィラーで平滑に調整してください。(但し、外部のパテ使用は不可)
- ALCパネル面は、ラフトンフィラーまたはスズカブラサフで全面に、木部の場合はドライキットで素地調整してください。
- 取り付け金具、くぎ頭などは、予めさび止め塗料で拾い塗りしてください。
- 油污れが著しい場合は、はがれ、ワレを生じますので、中性洗剤で十分に油分を落としてから塗装してください。
- スプレー塗装の場合は飛散防止のための養生を十分に行ってください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。うすめすぎは隠ぺい不良、仕上り不良などが起こりますので注意してください。
- はけ塗りとローラー塗りの仕上げが混在する場合、塗分量、仕上り肌が異なり、若干の色差を生じる場合があります。
- 各工程の塗装間隔及び最終養生は、所定の時間を厳守し、乾燥のために換気を十分に行ってください。冬期や寒冷地ではさらに長く取ってください。
- 補修塗りは、使用した塗料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。
- 新設塗装では、必ずシーラー(下塗り)を塗装してください。吸い込みの著しい面などは、予めワイドシーラー EPO またはサンプラを塗装してください。
- 外部塗装での赤・黄色系の使用は、他の色に比べ保色性が幾分劣りますので留意ください。
- 塗装後の乾燥が不十分な状態で降雨や結露などがありますと白化・色浮きなどを生じることがあります。その時は、十分乾燥後再塗装してください。
- 水が滞留するところ、結露が生じる部位への塗装は避けてください。
- 塗面をウエスなどで強く擦った場合、色が付着する場合がありますので、強く擦られることが懸念される場所への塗装はできるだけ避けてください。
- プラスチックなどの可塑剤を含むものには塗装を避け、塗装面が直接触れないよう注意してください。
- シーリング材への直接塗装は、塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)
- 旧塗膜に藻、かびがある場合は、藻、かびを除去し、殺菌処理(5%次亜塩素酸ソーダ水を塗布)後、水洗いを行い十分乾燥させてください。
- 塗装後のはけなどの用具は早めに洗浄してください。
- カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

## 取扱い上の注意事項

- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。  
防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
- 容器から取り出すときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。  
雨水や直射日光が当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所(5℃以下)など
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX 059-397-6191  
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255  
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621  
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店